

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	社会福祉法人陽和福祉会	代表者	福井 雅子	法人・事業所の 特徴	通い、訪問、宿泊の3つのサービスを組み合わせる形態で居宅サービス計画を作成し、利用者の日常生活を支援し孤独感の解消や心身機能の維持向上並びに家族の負担軽減を図る。また、レクリエーションや各種イベントを行う事によりどングりの森ならではの特色ある事業運営に努める。
事業所名	どングりの森	管理者	本木 孝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	1人	0人	2人	1人	1人	2人	2人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	各利用者の担当がケアマネと情報共有や連携をしっかりと行い、利用者に合わせてサービス提供に努めていく。	今年度より夕方反省会を行うことにより、各職員間でサービス内容や改善点などを話し合う事が出来るようになった。また、それらの内容を他職員やケアマネと情報共有出来るようになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・前向きに取り組んでいる。 ・利用者の情報共有は難しいと思うが、他者に判りやすい申し送りノートの記入(病院のカルデアのように記入書式をおさめるとか)を工夫され、成功例を共有化してください。 ・申し送り、反省会等を活用し、計画に添った取り組みをされていると思います。 ・まだまだ不十分な点については、今後の取り組みに期待します。 	サービスの内容をフロア会議などで定期的に振り返り、常に利用者本位のサービス内容の提供に努めていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	フロアや倉庫、事務所など整理整頓に努め、また、使いやすいように環境を整えていく。古い書類の整理。	前年度より引き続き、事務所やフロアの整理整頓に努めました。古い書類については、ファイルを作成し整理して、不要なものはその都度破棄するようにしました。	<ul style="list-style-type: none"> ・真面目に取り組んでいる。 ・特にないです。 ・整理整頓も含め、事業所内の整備は動きやすい動線に繋がりを介護面で、スピーディーな対応や転倒防止等事故の発生予防につながるのでも引き続き進められたい。 	3か月に一度を目安に事務所や倉庫などの書類や物品を確認し、不必要なものは破棄し整理整頓に努める。
C. 事業所と地域のかかわり	夏祭りなど季節の行事以外にもオレンジカフェなど、普段から行っている行事やレクにも家族様が参加して頂けるようにする。地域住民へのPRにも心掛ける。	今年度は新型コロナウイルスの影響により、行事や外部レクがほとんど中止になり家族様の参加もできませんでした。ただ、フロア内で行える行事やレクについては密にならないように気を付けて実施できていました。	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 ・今年度は新型コロナウイルスの影響もあり、地域との交流が出来なかったのが仕方がないと思います。 ・特にないです。 ・新型コロナ感染症予防の観点から家族や外部関係者等地域資源に関する人々が施設を訪問することは難しい状況にあったと思う。 	フロア内で行えるレクや行事などをフロア会議で定期的に話し合い、充実させていく。また、当日の様子を写真にして、SNSなどに載せて外部に発信していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	地域包括や相談員より地域のイベント情報を把握し、参加できる行事については事前に職員配置や応援を考えて対応できるように努めていく。	今年度は新型コロナウイルスの影響で外部への行事などはほとんど参加することができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 ・本年度は新型コロナウイルスのため外出もできない状態であったのは仕方がないと思います。 ・特にないです。 	地域包括や老人クラブなどから地域の行事やイベント情報の把握に努め、利用者と一緒に参加できるように配慮していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	小規模多機能の情報を随時報告し、それを踏まえた運営推進会議の意見を参考に生かしていく。	今年度は新型コロナウイルスの影響により、運営推進会議の開催もあまりなく意見を聞く事が出来ませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・努力している。 ・特にありません。 	運営推進会議で意見や提案について、前向きに取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	現在の利用者に合わせて避難経路、マニュアルなどを定期的に確認し対応に努めていく。	年2回の避難訓練を教育・防災委員会と連携して行っています。その際に避難経路やマニュアルなども確認しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の課題。 ・特にありません。 	防災マニュアルを常に確認するとともに、いざという時のために避難訓練、消防訓練を定期的に実施する。